

今ここにある“多様性”との対話
～「みんな違って、みんないい」ってなんだろう～

府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第1号
2023年6月2日発行

こんにちは、府立人研事務局です。梅雨の季節となりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか？「府立人研通信」第1号では、春季研修会及び総会のご報告をさせていただきます。多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。またのお越しをお待ちしております。

春季研修会及び総会 生徒の自主活動がきりひろく人権教育

～総会について～

5月12日（金）、2023年度春季研修会及び総会を府立市岡高等学校にて開催した。昨年度の活動報告、会計報告があり、また、2023年度の新役員案や予算案等が審議され、議案は全て承認された。



次に新会長からの就任の挨拶が行われた。

- ・様々な人権課題に取り組んで学び、府立人研の研究部会に集う教職員どうしがつながり元気づけられること。（…『広がり』）
- ・当事者や子どもや保護者、地域の方々の願いや思いに共感する共感力、人々の背景にある社会的な課題、つまり人権課題を見抜く想像力を持ち、差別の現実から深く学ぶことで真の共生社会をめざすこと。（…『深まり』）

これらを順に新会長は『広がり』『深まり』と呼び、この2つを大切に、共に研究交流活動を進めていこうと伝えた。



その後、研究交流部長より今年度の研究交流方針である「今ここにある“多様性”との対話～『みんな違って、みんないい』ってなんだろう～」について説明があった。

- ・様々な“個人”を深く知り、互いにつながり合い、大切にできてこそ、真(新)の共生社会を実現することができる。そのために、私たちは“多様性”という言葉が隠れ蓑にならないように着実に取り組みを進めていく必要がある。
- ・人権教育はすべての教育活動の根底に通ずるものである。特定の教職員だけが担うものではなく、世代を越えて知恵を出し合い、社会課題を自分たちごととして捉え共に乗り越えようとする「共事者」として新たな人権教育の地平を拓いていく実践を生み出していきたい。

これらの思いを強調して伝えた。



～研修会について～

報告・講演では「生徒の自主活動がきりひろく人権教育」と題して、府立人研の自主活動育成チームと府立高校の卒業生から報告があった後、大阪教育大学名誉教授の森実さんからお話をいただいた。

自主活動育成チームからは、昨年度のヒューマンライツフォーラム(以下 HRF)についての活動報告、取り組みの意義や機能について説明があった。そして、府立高校在学時、HRFに参加していた卒業生とサポートをしていた教職員から、



当時の活動の様子についてお話しいただいた。卒業生は、高校在学時、部落差別について勉強をしている中、友人が自分の出身を打ち明けてくれたことがあった。この時、大切な友人を絶対に差別から守りたいし、無知であることによって友人を無意識に傷付けてしまうことが怖かったので、もっと部落差別について勉強しようと思った。さらに、卒業後に差別と直面した時のエピソードをお話しいただいた。アルバイト先の方が笑いながら心無い発言をしたというもので、その際に高校時代に正しく学習していたおかげで、無知な人を放っておく方が嫌だと思い、その方に対してすぐに注意したと語られた。まさに HRF で培った力の賜物であると

感じずにはいられなかった。最後には「生徒たちの未来のためにも、もっと人権学習をする学校が増えてほしいと願っています。」と卒業生からエールが贈られた。



森実さんからは、たくさん学びのあるお話をいただいた。集団を形成していく上では「見つめる、語り合う、つながる」という教育活動が、大切な役割を果たすと語られた。その活動の一つとして、HRF が位置付くとの見

解を示された。さらには、現代の教育政策が自主活動を応援している根拠もお示しいただいた。例えば、生徒指導提要【改訂版】では「人権」というワードが改訂前の8回から約40回に増えたことや、特別活動は、結果として児童生徒が主体となって集団の質を高め、より深い人間関係を形成するという丁寧な解説をいただいた。また、結果としてこの10年間で人権に対する考え方は深まっており、だからこそ、教職員自身の人権教育に対する考え方もアップデートしていく必要性があると提言された。さらには、生徒指導が人権に裏付けられた指導方法を求めている、現行の学習指導要領では、人間尊重とは人権尊重を意味することであり、高等学校学習指導要領の【特別活動編】に示されていることは、まさに HRF そのものであるとの見解をお示しいただいた。あらためて、生徒の自主活動がきりひろく人権教育の広がりや深まりを進めていくためにも、われわれが高い視座と広い視野をもって教育活動に臨まなければならないことを確認しあうことができた。



直近の主な活動予定



第1回 研究部会 6月9日(金)

地域交流部会 6月30日(金)

7月7・14日(金)

夏季セミナー 7月26・27日(水・木)

☆詳細は各行事の3週間前までに各校にお送りします。
☆第1回 研究部会については5/19(金)発行のたより第4号をご覧ください。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1-7-106 府立柴島高等学校内
(通送便は「府立人研」とお書きください。)

TEL・FAX 06-6324-3822 (直通) (お電話の場合は、火曜日をお願いします。)

E-Mail furitsujiinken@nifty.com (お問い合わせは、なるべくメールをご利用ください。)

URL <http://furitsujiinken.in.coocan.jp/>



↑府立人研 HP も
チェックしてくださいね

「府立人研だより」の掲示・配布をお願いいたします。各校の人権教育の充実にお役立ていただけましたら幸いです。